

# 先進口腔医療開発学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

1. Ogata K, Ohba S, Sumita Y, Asahina I: Safety and feasibility assessment of biodegradable poly (L-lactic acid/ $\epsilon$ -caprolactone) membrane for guided bone regeneration: A case series of first-in-human pilot study. Journal of Dental Sciences 17(1): 368-376, 2022. doi: <https://doi.org/10.1016/j.jds.2021.08.015>. (IF: 3.5)

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	1	6

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
住田吉慶・教授	専門委員	日本学術振興会・科学研究費委員会
住田吉慶・教授	代議員	一般社団法人日本再生医療学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
住田吉慶・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (B) 組織マクロファージの動的恒常性維持機能を標的軸としたデザイナー細胞医薬の開発
住田吉慶・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究 (萌芽) iPS細胞由来巨核球を骨誘導のデザイナー細胞として応用した新しい骨再生治療開発
住田吉慶・教授	共同研究 (セルアクシア)	代表	共同研究 高機能細胞E-MNCの機能に関する研究
住田吉慶・教授	共同研究 (メガカリオン)	代表	共同研究 iPS細胞由来巨核球画分の歯周組織再生に及ぼす影響
住田吉慶・教授	日本学術振興会	分担	挑戦的研究 (萌芽) マイクロ流体デバイスを用いた血中循環がん細胞クラスター抽出法の開発
井 隆司・助教	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 組織常在CD34陽性細胞の分化機序を標的とした放射線性唾液腺萎縮症の治療薬の開発
魚返拓利・助教	日本学術振興会	代表	研究活動スタート支援 骨代謝関連細胞の時間・空間的コミュニケーションを制御するiPS巨核球治療の基盤研究

朝比奈 泉・客員研究員	日本学術振興会	代表	挑戦的研究（萌芽） 病的老化組織からの組織再生を制御するゲ ザイナー細胞医薬の創出
住田吉慶・教授	セルアクシア株式会社	共同研究	「高機能細胞E-MNCの機能に関する研究」
住田吉慶・教授	株式会社メガカリオン	共同研究	「iPS細胞由来巨核球画分の歯周組織再生に及 ぼす影響」
住田吉慶・教授	ヒューマンライフコード株式会 社	共同研究	「臍帯間葉系細胞を応用した顎骨再生」
住田吉慶・教授	株式会社ボナック	共同研究	「化学修飾miRNAを搭載した骨誘導性遺伝子活 性化基質の開発」

## 特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
住田吉慶・教授	iPS巨核球由来因子（iMDF）に よる骨・歯周組織再生技術	2020年10月26日	出願中	特願2020-180041
住田吉慶・教授	骨形成組成物およびその用途	2021年10月26日	出願中	特願 PCT/JP2021/039715
住田吉慶・教授	血管内皮増殖因子を高発現する 臍帯由来間葉系幹細胞の製造方 法、および肺疾患治療用医薬組 成物	2022年7月19日	出願中	特願2022-114988
住田吉慶・教授	ヒト臍帯由来間葉系幹細胞から 骨芽細胞の製造を目的としたア クチン重合阻害剤による分化誘 導技術	2019年3月29日	2020年10月29日	特許第6785516号

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関 係 機 関 名
住田吉慶・教授	Adjunct Professoor（大学院研究）	McGill大学歯学部

### 学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
井 隆司・助教	優秀ポスター賞	日本口腔科学会学術集 会	DAMPs排除機能を備えた新規 細胞医薬E-MNCが放射線萎縮 唾液腺の再生を促進すること を明らかにした。
井 隆司・助教	優秀論文研究者賞	日本唾液ケア研究会学 術集会	唾液腺再生に機能する新規細 胞医薬の効能に関する論文に ついて受賞した。